



あだち放課後子ども教室

見守りスタッフの学び ~「安全・安心な居場所」であるために~

あだち放課後子ども教室は、小学校の放課後に、校庭や体育館、教室や図書室などで子どもたちが自由に遊んだり、読書や学習活動をする教育委員会の事業です。子どもたちが安全に過ごせるように、安全管理員(見守りスタッフ)が活動の見守りをしています。

今回は、スタッフの講習会や研修会を紹介します。

《安全管理講習会》

子どもたちのケガや事故に対応できるよう、応急手当や心肺蘇生法(胸骨圧迫、AED〔自動体外式除細動器〕の使用法)を学ぶ講習会です。熱中症やケガをした際の聞き取りのポイント、アイシングの方法などを習得するスタッフの姿は真剣そのもの。年1回、知識の再確認を行っています。



講習会の様子

《スタッフ研修会》

子どもへの話し方のコツや、トラブルの対処法、発達段階の特徴など、見守りに役立つ研修会を年に数回開催しています。

今年6月に実施した「体温リズムからみたゴールデンタイムの意義と役割」では、「放課後の時間帯に思う存分遊べることがいかに、心とからだが育つことにつながるかがよくわかった」などの感想をいただきました。

今後開催予定の「子どもとの接し方」では、子どもの多様性への向き合い方、注意をする際の配慮など「子どもたちへの心理」についても学びます。



研修会の様子



活動中のスタッフの皆さん

問い合わせ

放課後子ども教室担当

☎ 5813-3732

平日 午前9時～午後5時